

さがみそうみらい プロジェクト

相模原市キャリア教育パンフレット

～地域の誰もが先生です～



さがみはらしきょういくいいんかい
相模原市教育委員会

【相模原市が目指す人間像】

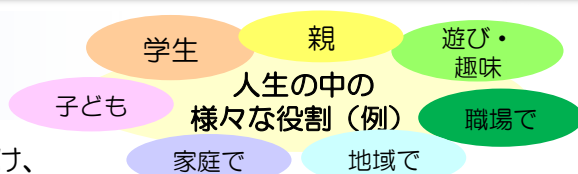
共に認め合い、^{いま}現在と未来を創る人

1 キャリア教育とは

キャリア教育とは、「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育」（中央教育審議会「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について（答申）」（平成23年1月）です。

人は、他者や社会との関わりの中で、家庭の中で、職場で、地域で、いろいろな役割を担いながら生きていきます。人が、生涯の中で様々な役割を果たす過程で、自らの役割の価値や自分と役割の関係を見出していく連なりや積み重ねが「キャリア」です。社会との相互関係を保ちつつ、自分らしい生き方を展望し、実現していく過程がキャリア発達です。

相模原市では、子どもたちが学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていけるよう、学校、保護者、地域、行政、専門家、関係機関が協力しながら、キャリア教育の充実を図っています。



2 さがそうみらいプロジェクト グランドデザイン

相模原市がめざす子どもの未来の姿

～夢や希望を持って未来を切り拓く力を備え、
社会的・職業的自立を果たし、社会で自己実現する姿～

縦の接続

【校種間連携】

・幼保小連携
・小中一貫教育
・キャリア・パスポートの活用 など

進学(高等学校・専門学校など)・就労

中学校

小学校

就学前

横の連携

【地域や家庭との連携】

・コミュニティ・スクール
・職場体験支援事業
・さがそうみらいプロジェクト・サポーターズ など

具現化するためにキャリア教育で育みたい力

つながる力

自律する力

基礎的・汎用的能力(社会的・職業的自立に向けて必要な4つの力)

乗り越える力

見通す力

「さがそうみらいプロジェクト」とは

相模原市が進めるキャリア教育に関わる取組の総称を「さがそうみらいプロジェクト」といいます。キャリア教育の推進にあたっては、第2次相模原市教育振興計画の基本姿勢2「『縦の接続』と『横の連携』」に基づき、これらの具体的な取組を進めることが大切です。

キャリア教育においては、「縦の接続」や「横の連携」の取組などを通じ、「つながる力」、「自律する力」、「乗り越える力」、「見通す力」の4つの力（基礎的・汎用的能力）の育成をめざしており、これらの力を身に付けることが、将来、社会で自己実現することにつながると考えています。

3 キャリア教育と自己肯定感

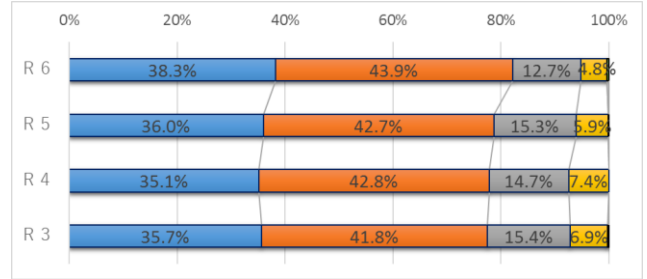
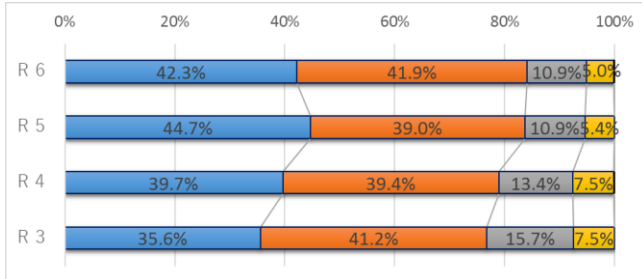
キャリア教育の推進により、様々なことに挑戦しようと思う意欲の源泉である「自己肯定感」が育まれているかを成果指標の一つとしています。

Q 自分には、よいところがあると思いますか。

※ R3 - R6 全国学力・学習状況調査 質問調査における本市の状況

小学校6年生 肯定的に回答した児童の割合
R3_76.8% → R6_84.2% ↑

中学校3年生 肯定的に回答した生徒の割合
R3_77.5% → R6_82.2% ↑



■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない ■ その他 ■ 無回答

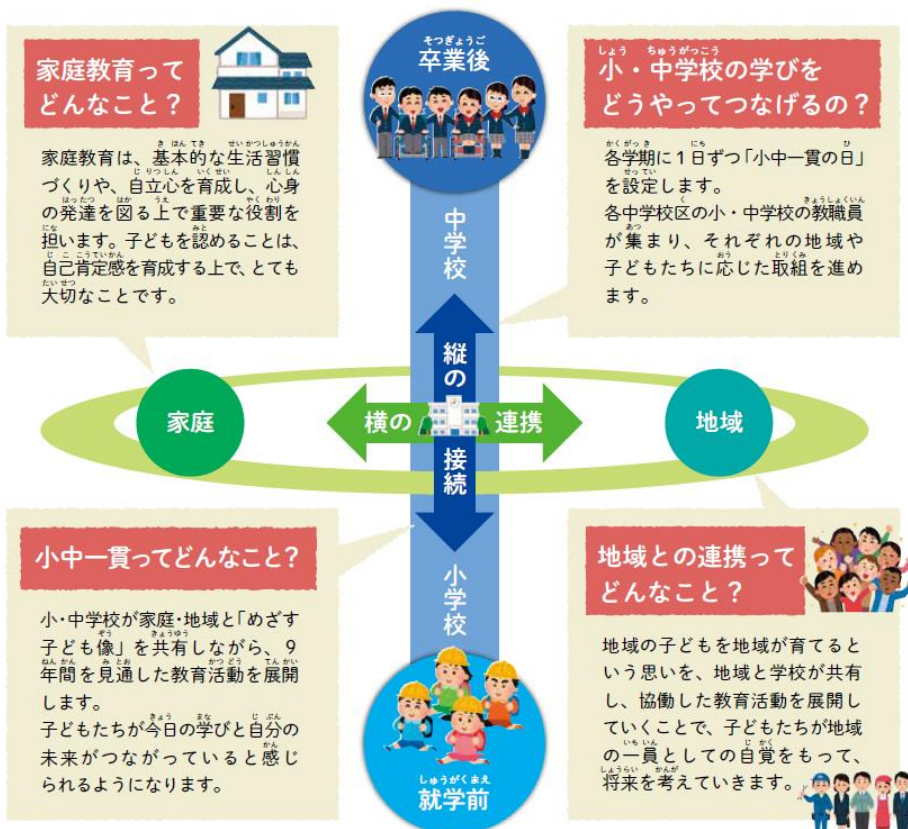
4 『縦の接続』と『横の連携』

縦の接続

幼児期から高齢期までの生涯にわたる学びを実現するため、幼保小の連携、小中一貫教育等の取組を進めています。

横の連携

学校教育と家庭教育、社会教育の一体的な取組を実現するため、学校と行政、家庭・地域住民等が連携・協力して行う教育を推進しています。



『縦の接続』の取組 ～幼児期、義務教育段階、義務教育修了後という子ども一人ひとりの学び・育ちのつながりを意識し、各学校種が相互に連携・協力した教育～

1 幼保小連携

学び・育ちのつながり

義務教育開始前後の5歳児から小学校1年生の2年間は、生涯にわたる学びや生活の基盤をつくるために重要な時期で「架け橋期」とよばれています。

市内でも、子ども同士の交流、保育参観、授業参観、合同研修、連携のための会議等、園と学校が協力した連携により、学びの連続性がある教育活動を展開しています。

子ども同士の交流



保育参観や授業参観



連携のための研修や会議



2 小中一貫教育

学び・育ちのつながり

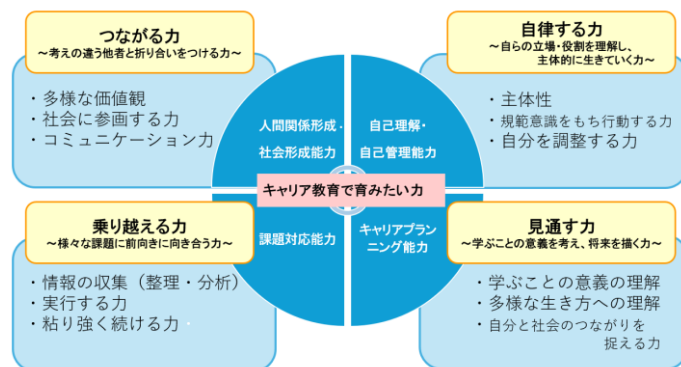
各中学校区において、小中学校が、家庭・地域と義務教育9年間で育てる「めざす子ども像」を共有しながら、「キャリア教育で育みたい力」を軸としたカリキュラム・マネジメントにより、義務教育9年間を見通した教育活動を展開しています。



小中一貫の日

年に3回、中学校区の教員が一堂に会する「小中一貫の日」を設定しています。学区の特性や児童生徒の実態に応じた教育の在り方等について研修会や協議を行います。

社会的・職業的自立に向けて必要な力 ～9年間を見通して育みます～



教科に分かれて小中合同の協議



キャリア教育について小中合同研修

3 「キャリア・パスポート」

学び・育ちのつながり

「キャリア・パスポート」とは

学ぶことと自己の将来とのつながりを見通すための学びをつなぐツールが「キャリア・パスポート」です。

キャリア教育で育みたい力（つながる力・自律する力・乗り越える力・見通す力）は、どれくらい身に付いたか見えにくいものです。学校行事や学期ごと、1年間など、これまでの自分の学びを振り返ることで、学校での生活や学習、行事などと自分の将来や社会とのつながりを実感します。

「学びの足跡」を次の学年、そして小学校から中学校、高等学校へとつなぐことで、子どもたちは自分の成長を実感します。

家庭との連携



友達と交流し学びを深めます
～自己理解・他者理解～



先生方も
さらなる子ども理解へ



自分の考えや思いを他者と交流し、自分の気付かなかった成長に気付くこと、また、他者と交流しながら思いを膨らませた上で、「なりたい自分」に向けて、目標を決めていくことが大切です。

子どもたちがどんな学びを積み上げてきたか、どんな関わりをしてきたか、「キャリア・パスポート」を見ながら、小中の先生方で協議し、これからの学びにつなげます。

「キャリア・パスポート」の例

さがみらい Passport

【17フレクション】

【1】自分を振り返りましょう。
自分がどのくらいできたから振り返り、一番近いところに○をつけましょう。

3年生でがんばること	よくできた	まあまあでできた	がんばりてなかった	できなかった
けいけんしたことをもとに、話すことができる。【つながる力】		○		
苦手なことに対しても、がんばることができる。【じりつする力】	○			
分からないことについて、しつもんしようとしている。【のりこえる力】		○		
次のめくひょうを考えて、ちょうせんしようとしている。【見通す力】		○		

じゅぎょう以外でとくにがんばったことに○をつけましょう。また、そこから成長したこと（みについた力、できるようになったこと）を書きましょう。
【係活動／当番活動／運動会／クラブ活動／あいさつ／OO実行委員 など】

運動会のダンスを本気でやって、本番で1つもまちがえないでできてうれしかった。
 れんしゅうのときに、友達がわからないところをおしえてくれたのもうれしかった。
 みんなの協力があったから、表現が大きいこうしんだと思います。

④家庭や地いきなどでがんばったことをあげ、その中で身についた力を書きましょう。
（ならいごと、家の手伝い、地いきの行事にさんかしたこと など）

【がんばったこと】
 ここを一つにして、あきらめずにさいごまでみんなとやりとげることができたこと

【みについた力】
さいごまであきらめない力

よくがんばりました！9月からコツコツと努力を重ねてきていたね。努力を続けていたことが、成長や目標達成につながるね。今後に生かしていこう！

先生も身近な大人も、
子どもたちの成長をサポート
～温かな励ましが、自己肯定感を育みます～



学校では、「キャリア・パスポート」を通して、子どもたちが見通しをもち、主体的に考え、自己選択・自己決定できるよう、子どもたちの気付きを大切にしたい関わりを意識しています。

子どもたち一人ひとりの学びの足跡を捉え、子どもたちの学びの過程を価値付ける温かな働きかけにより、子どもたちは、誰かの役に立っているという自己有用感や自己肯定感の高まりを感じることに繋がります。

「○○をよくがんばっているね。」
 「○○さんのおかげで、みんなが過ごしやすいよ。」
 「○○がこれからの生活につながるそうだね。」

ぜひ、保護者の皆様や地域の方からの温かな言葉や見守り、励ましをお願いいたします。

『横の連携』の取組

～学校教育と家庭教育、社会教育の一体的な取組を実現するため、学校と行政、家庭・地域住民等が連携・協力して行う教育～

1 コミュニティ・スクール

地域と連携・協働した
教育活動

未来を担う子どもたちの育成を図るため、子どもたちや学校の抱える課題の解決に向け、子どもに関わる活動の担い手を育成するとともに、地域と学校がパートナーとして連携・協働するための仕組みづくりなど、地域全体で子どもたちの成長を支える取組を進めます。

コミュニティ・スクールとは

学校運営協議会を設置した学校のことです。子どもたちの学びを充実させるために、地域と学校が連携・協働した取組を行います。

コミュニティ・スクールを進めることで、子どもたちには、学んだことを活かす力やシビック・プライドが高まります。



地域学校協働活動とは

地域学校協働活動とは、地域住民、学生、保護者、民間企業、団体・機関等の幅広い地域住民等との参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、学校と地域が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動です。

学校での授業支援や登下校の見守り、放課後の居場所づくりなどを行います。地域全体で子どもたちを育てることで、大人同士のつながりもつくられます。

【活動の一例】～実態に応じた取組が大切です～

地域の方を
ゲスト・ティーチャーに



地域の方と学びを深める



地域と学ぶ防災教育



地域学校協働活動推進員とは

地域と学校をつなぐコーディネーターを地域学校協働活動推進員といいます。「学校や地域の子どもの課題」と「学校が向かっていく方向」を共有し、一緒に取り組んでいく学校を応援する、地域の人たちのまとめ役です。

2 様々な企業・機関等とのつながり

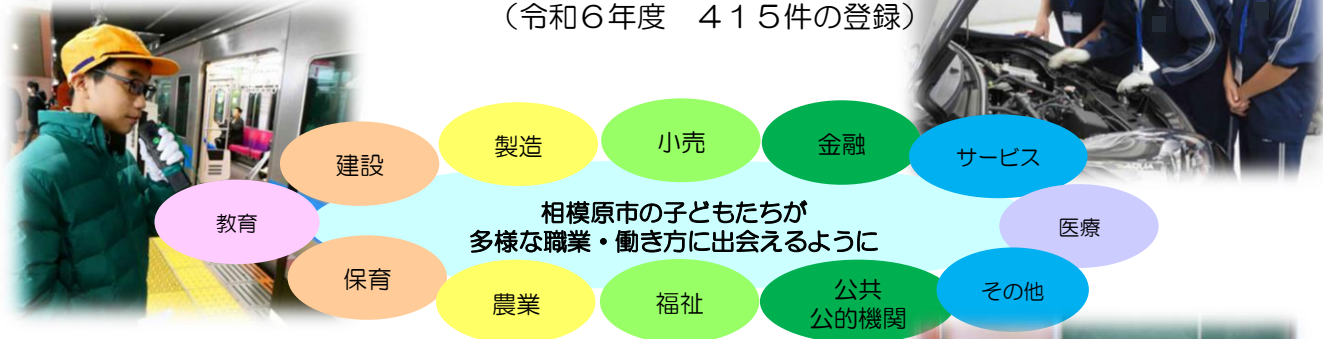
地域と連携・協働した
教育活動

さがみはら中学生職場体験支援事業

各中学校で行っている職場体験の実施を支援するために、事業にご賛同いただいた受入れ先のリストを提供しています。

実際に働いている方々と接することで、勤労観を育むとともに、子どもたちは、職場で働いている方の雰囲気を感じたり、将来に必要な資質・能力について、実感したりします。

(令和6年度 415件の登録)



さがそうみらいサポーターズリスト（さがリス）

出前授業や授業で利用できる教材等を一元化したリストです。各分野で活躍する企業や専門家にご登録いただいています。

(令和6年度 239件の登録)

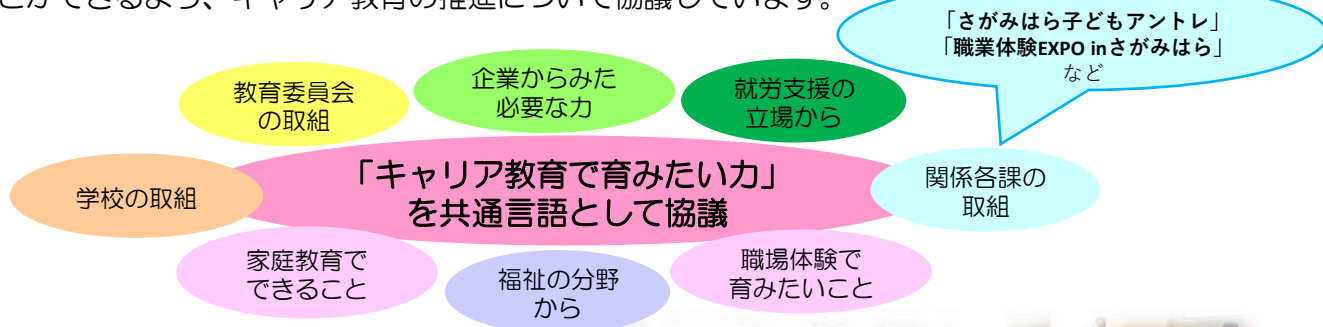
各校では、リストを活用し、職業講話や体験学習を行っています。



3 キャリア教育推進委員会

地域と連携・協働した
教育活動

年2回、相模原市立小学校、中学校及び義務教育学校の児童生徒が、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくことができるよう、キャリア教育の推進について協議しています。

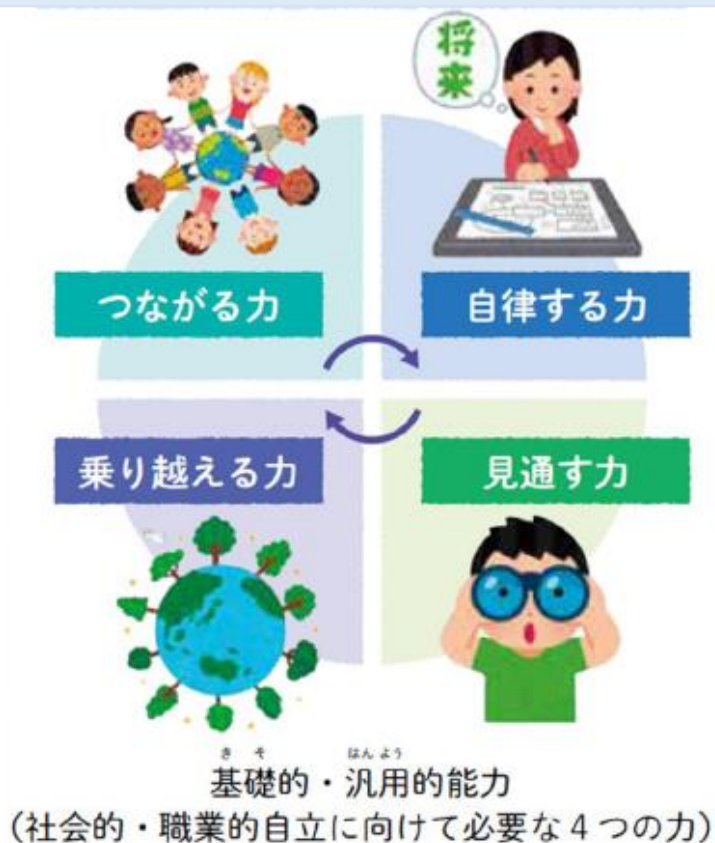


【委員】

学識経験者 相模原市PTA連絡協議会の代表 民間自立支援施設の代表 相模原商工会議所の代表 公益社団法人相模原法人会の代表
公益社団法人相模原青年会議所の代表 相模原公共職業安定所の代表 小・中学校校長会の代表 市役所関係部課長 計20名

キャリア教育で
身に付く力とは？

社会的・職業的自立に向けて必要な
4つの力が身に付きます。



さがそうみらい
プロジェクト
相模原市キャリア教育



相模原市 キャリア教育

で検索！

【参考文献】
○文部科学省

「小学校キャリア教育の手引き」 (2023) https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/career/detail/mext_01951.html